



AVENUE

発行／医療法人社団北海道恵愛会 札幌南三条病院 〒060-0063／札幌市中央区南3条西6丁目
TEL 011-233-3711(代表) FAX 011-233-1415 URL <http://www.h-keiaikai.or.jp/minamisanjo/>

医療法人社団北海道恵愛会の基本理念

『専門性と質の高い医療を通じ、地域の発展に寄与する』

札幌南三条病院の基本理念

『患者さんにとって最もよい医療を提供する』

札幌南三条病院の基本方針

呼吸器疾患、特に肺がんの診療を中心として専門性の高い有効な医療を提供する

1. 患者の意思を尊重し安全で安心できる医療を提供する
2. 医療情報の発信と地域連携を通じ社会・地域医療へ貢献する
3. 改善活動を推進し質の高い医療を提供する
4. 教育と研修を充実し良質な医療を担う人材を育成する
5. 療養環境や職場環境の充実を図る
6. 健全経営に努め安定した病院運営を行う

信頼されて10周年。当院は開院10周年を迎えました



10周年を迎えて

医療法人社団北海道恵愛会 理事長 西田 憲策

当院内報も10年を迎え、各皆様には支えてくださり、改めて御礼申し上げます。

早いもので南三条病院が開設してから10年の月日を経てまいりました。思えば難解な工事と以前の職員との人事について多くの作業がありました。また南一条からの患者搬送、機械の設置当時のご苦勞をかけた方も半数しか残っておりませんが本当にご苦勞様でした。引越してきて1年2年と経済的にも大変苦勞をかけ、昇給停滞させた時代もあり、10年前から居た職員には再度御礼申し上げます。

さて、10年ひと昔といいますが、10歳年をとったのでありますから、今後はどの様に歩むかを考えなくてはなりません。しかし医療機関が売上目標といって頑張る事が果たして正しいのかと思う事を考えますと、些か疑問を感じるがあります。私たちの理念に患者さんにとって最も良い医療をおこなう事とあります。日夜、医師、看護師、そしてそれを手助けするスタッフが、病める方々から信頼できる病院を作っていくことが本分であり、その事が欠落したなら自然と淘汰されるのではないのでしょうか。多くの医療機関があり、皆それぞれの理念を持って事業を行っており、すべてが患者さんの事を考えて行動していると思います。

この業界は国によって統制された経済の仕組みで何十年と行われてきています。医療費は税金と

国民からの保険料で厚労省が点数という名で決め、何割かの患者負担でまかなわれており、これは市場経済とは違うところにあります。医療はサービス業の一つだという括りにされましたが、他のサービス業と同じでしょうか。人々の命を救おうとする事が、決められた予算で行う普通の商業経済と並べられては大きな問題を起こすこととなります。昨年は食品の偽装問題が世に出回りびっくりしましたが、医療にこのような事はあってはならないのです。私たちは人口が増え続けてきた時代のインシュアランスをそのまま受け続けています。昨年は史上最低の出生率だったそうですが、あと10年経過すると老人だけの社会になるかもしれません。30兆以上も掛かる社会福祉費を改めて考えなくてはならないのだと思いますし、今年はそのことが課題とされる時代の入り口かもしれません。皆様も対岸の火事だと思わずチェックできる人になって頂きたいものです。

南三条病院は国民が一番恐れている癌(肺癌)を中心とした医療をやってきました、その結果、民間病院としては全国一の評価を得ています。また昨年は日本医療機能評価機構の2回目の審査により認定証を受けました。これらの事を誇りに思い、すこしでも多くの患者さんに最も良い医療ができることを、今年も第一の目標としていきたいと思っています。

信頼されて10周年。当院は開院10周年を迎えました



10周年を迎えて

札幌南三条病院 院長 関根 球一郎

札幌南三条病院が南一条病院から分離開院してから10年という節目の年を迎えました。呼吸器、とくに肺がんを中心に据えて、肺がん手術と抗がん剤治療という形で病室の大部分を占めるという全国の中でも類を見ない形の病院として成長してまいりました。肺がん退院患者数では全国1~5位以内、肺がん手術実績も全国14~15位程度で、もちろん北海道では最も多い肺がん症例を治療できるようになりました。治療内容の充実こそが目標とすべき指標なのですが、肺がんの重症度に影響されるため数値として確立しにくいところがあります。治療成績として5年生存率をクリニカルインディケイターとして重視しておりますが、全国のがんセンターや大学病院と遜色ありません。

当院は日本呼吸器学会の認定施設でもあり、『患者さんにとって最も良い医療を提供する』という基本理念の下、努力を続けております。治療成績や数の面だけでなく、日本医療機能評価機構による認定施設としても、患者中心の医療、医療倫理、経営内容など多くの客観的指標から良い病院としての実績を積み重ねてきております。かなりの実績で努力を続けているのですが、働いている医師の年齢層が上がってきていることもあり、一般的な医師数は足りているものの優秀な若手医師数の不足が目立ってきております。4月からは呼吸器内科医の1名増員が決定しておりますが、まだ十分ではありません。労働過剰になって疲弊してしまわないように働く側の労働条件や環境づくりも進めていかねばならないと感じています。

肺がん治療における当院での最も弱い点は、

放射線治療にあります。目下、北海道がんセンター放射線科などの御協力を頂き、放射線治療が必要な患者さんには転院して頂く形になることもあり、また脳転移などを合併した患者さんには中村記念病院でのγナイフ治療を実施して頂くこともあります。緩和ケアや在宅を含め、多くの地域の病院との協力関係がなければ十分な良い治療は望めません。最近数年、抗がん剤、特に肺腺がんを中心とした治療の進歩は著しく、検査の段階でも遺伝子の検索が必須になってきており、経気管支肺生検の技術もバーチャル内視鏡をはじめ年を追って改善され進歩しております。外来での抗がん剤治療も増え、働きながらの抗がん剤治療も可能になりつつあります。

2人に1人ががんにかかり3人に1人がそのために亡くなるという現実の中で、肺がんは頻度が最も多く、命取りになりやすい癌でもあります。いかに早く正確に肺がんを診断し、治療に結びつけ、不幸にして肺がんになってしまった患者さんにとってよりよい人生を送っていただくように、健診部門における早期発見も含め努力を続けたいと思います。



(札幌南三条病院)



札幌南三条病院 無料講演会レポート

インフルエンザの診断と治療

平成25年12月7日(土) / 8階講堂

札幌医科大学附属病院 第3内科 助教

大塚 満雄 先生

インフルエンザが流行する季節になりました。札幌医科大学附属病院 第3内科 助教 大塚満雄先生に、インフルエンザの特徴や予防、対処法を詳しく解説していただきました。参加者からは大変参考になりましたとの声も多く聞かれました。

インフルエンザの重症化に気をつけましょう!

インフルエンザの症状は1週間程度で落ち着きますが、抵抗力の弱い高齢者や乳幼児、妊娠中の方、慢性疾患のある方(呼吸器や心臓に病気を持つ人・糖尿病や慢性腎臓病を持つ人など)や免疫機能が低下している方は、合併症をおこし、重症化しやすいといわれています。

特に、高齢者に多い「二次性細菌性肺炎」や、乳幼児がかかりやすい「インフルエンザ脳症」は、命にかかわる病気です。インフルエンザウイルスは増殖が速く、症状が急速に進行するので、単なる風邪だと考えずに、早めに医療機関を受診しましょう。

インフルエンザワクチンの効果

インフルエンザの予防にはインフルエンザワクチンの接種が有効です。インフルエンザの重症化などを予防する効果が期待されています。高齢者や慢性疾患のある方や免疫機能が低下している方は、医師とよく相談のうえ、予防接種を受けましょう。また、日頃より慢性疾患の治療をしっかり行うことも大切です。高齢者は肺炎球菌ワクチンも接種して、肺炎の予防も併せて

行うとよいでしょう。

インフルエンザワクチンは、ウイルスの変化に対応し、そのシーズンに流行するウイルスの型を予測して製造されています。インフルエンザワクチン接種後、個人差はありますが、免疫が十分に高まり効果が現れるまでに2週間程度を要し、約5か月間その効果が持続するとされていますので、毎年、流行シーズン前の12月上旬ころまでにワクチン接種を終えて、免疫を高めておくことが大切です。

インフルエンザにかかったら

現在使われている抗インフルエンザ薬は、インフルエンザウイルスの数が最も多くなる前(発症してから48時間以内)に使用すると、インフルエンザウイルスの増殖を抑え、症状の悪化を防ぐ効果が期待できます。インフルエンザにかかったら早めに医療機関を受診し、安静にして十分な休養と睡眠をとりましょう。水分も十分に補給しましょう。(お茶、ジュース、スープなどでよい)

また、他の人にうつさないために、マスクを着用して咳エチケットを心がけましょう。一般的にインフルエンザに感染・発症してから3~7日はウイルスを排出するので外出を控えましょう。

ホッと 通信

栄養科では患者さんの治療効果が上がるよう、様々な取り組みを通して栄養面の支援を行っています。その一つとして月に1回程度、“ホッとするひと時”を過ごして頂ける様に“見て楽しい食べて美味しいお食事”を提供しています。

今年のクリスマスはイチゴのサンタクローズとマッシュポテトのツリーでより一層賑やかなクリスマスディナーになりました。年末年始を病院で過ごされる患者さんには心づくしのお正月メニューを提供させて頂きました。

栄養科 主任 管理栄養士 市川 真紀

クリスマス



お正月



介護保険で利用できるサービスは、大きく【在宅サービス】と【施設サービス】に分けることができます。

【在宅サービス】は、訪問によるサービス、通所や短期入所して受けるサービス、地域密着型介護サービスなどに分けることができますが、今回は訪問によるサービスのうち、【訪問リハビリテーション】について、お話したいと思います。

【訪問リハビリテーション】とは、理学療法士、作業療法士、言語療法士が自宅を訪問して、心身の機能回復を図り日常生活の自立を助けるためのリハビリテーションを行うサービスです。

体力面などの理由で通所によるリハビリを受けることが難しい場合でも、住み慣れた自宅で日常生活に即したリハビリを受けることが可能であり、利用者のペースで訓練を進める

ことができます。

要介護認定で要支援1・2または要介護1~5の認定を受けた方が対象となりますので、利用にあたってはケアマネージャーとよく相談をすることが大切です。

詳しくは地域連携室までお問い合わせ下さい。

地域連携室 主任 医療ソーシャルワーカー 吉岡 姿乃

地域
連携室
だより 11

4階病棟 レポート

4階病棟は呼吸器外科を中心に、肺がん、縦隔腫瘍、気胸などの肺疾患の手術適応の患者さんを主に対象としています。術後より医師、看護師、理学療法士、栄養士等で患者さんが早期離床できるように情報を共有し、協力して援助しています。

私達は、安全で安心できる看護を提供することを心がけ、患者さんが安心して治療が受けられ、また地域連携室、外来とも連携を取って、退院後も不安なく生活が送れるように、日々努力しています。

4階病棟は医師4名、看護職員16名、クラーク1名、看護助手3名で構成されています。これからもスタッフ皆で助け合い、笑顔で患者さんが元気を感じられるように看護を行っていきます。

4階病棟 科長 千葉 彩子



札幌南三条通り物語

ブルーランジェリーホーム 南3条店

資生館小学校の向かい側に目をひかれる小さなパン屋さんがあります。

昨年11月下旬にオープンしたブルーランジェリーホーム南3条店。

本店は新川にあり、全て北海道産の小麦を使用した保存料・着色料等を一切使用しない、体にやさしい無添加生地のパンを作っており、毎日焼きたてのパンを本店から運んできているそうです。

窓側には4席ほどのイートインスペースもあり、パンに合う森彦のコーヒーも味わうこともできます。

天然酵母のハード系のパンが陳列された店内は落ち着いた作りになっています。

サクサクのクロワッサンやふわりとした食感の食パン。毎日60から70種類のパンが並び、見ているだけでも目に飽きないです。

自宅で食べる時はオーブンかレンジで温めて食べるのとより一層おいしくいただけます。

ぜひ皆さんも一度こだわりのパンを試してみてくださいはいかがでしょうか。

総務課 安田 光



住 所／札幌市中央区南3条西7丁目
Kaku imagination 1F
営業時間／11:00～19:00
定 休 日／毎週火曜日
電話 & FAX／011-231-0024
※売り切れ次第閉店の場合があり。

札幌南三条病院 クリスマス・コンサート

平成25年12月11日(水)・当院1階ロビー

演奏：大平 まゆみ さん (ヴァイオリニスト、札幌交響楽団コンサートマスター)

札幌コンサートマスターの大平まゆみさんをお迎えして、クリスマス・コンサートを開きました。

大平さんにはいつもボランティアで来ていただいておりますが、当院のホールでの演奏はとても響きが良く、気持ちよく演奏できるとおっしゃっていただきました。

毎回、大平さんの演奏を楽しみにしておられる患者さんも多く、ロビーにたくさん集まっていただきました。愛情深く優しいヴァイオリンの音色と皆さんの歌声が一つになり、会場は温かい雰囲気になりました。



編 | 集 | 後 | 記 |

皆様、良いお年をお迎えになりましたか？

当院は昨年、「日本医療機能評価機構」による病院機能評価認定を更新することができ、更に今年は10周年という節目を迎えました。

おめでた続きで今年も良い年になりそうですね。

総務課 安田 光

医療法人社団北海道恵愛会のご紹介

<http://www.h-keiaikai.or.jp>

札幌南一条病院 TEL.011-271-3711

【循環器・腎臓病・呼吸器慢性疾患の専門病院、腎臓病センター、シャントセンターを併設】

循環器・腎臓内科、呼吸器内科、血管外科、内科、リハビリテーション科、糖尿病内科、消化器内科、人工透析(夜間にも対応)、在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法、SAS(睡眠時無呼吸症候群)検査、禁煙外来、人間ドック、各種健康診断、血管ドック

札幌南三条病院 診療科目のご案内

<http://www.h-keiaikai.or.jp/minamisango/>

■呼吸器内科 ■呼吸器外科 ■内科 ■消化器内科 ■麻酔科 ■放射線科
■脳神経外科 ■健診センター(健康診断、人間ドック、肺ドック、PETドック) ■禁煙外来